

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2025年3月1日 258号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

レダプロジェクト+経営のプロ  
西永氏・水田氏



●バイア・ネグラからレダに向かう西永氏(左)と水田氏。1月30日



●空軍機でバイア・ネグラの飛行場に降り立ちました。1月30日



●同じく自立経済の取り組みと未来の趣味産業をプレゼンする水田氏。



●自立経済の基盤構築、事業化戦略等をプレゼンする西永氏。

★**自立経済事業に向けてのロードマップ作成** 私が日陽園に来るのは3回目です。その前の第一回・二回は、パラグアイの養殖生産業者と、販売市場と、生産地の市場を視察することに加え、将来のレダ事業の可能性を探つてまいりました。

私が初めてパラグアイと日陽園を訪問をしたおり、この地(日陽園)の自立経済のモデル設計は、未来のビジョンが開けるものとなるなければならないと、瞬時に見て分かりました。

そこで、自立経済のビジネスモデルを設計していくにあたり、その達成項目管理のために運営開発会議を発足させました。ロードマップは人材育成(on the job training)なども含んでおり、目標の達成へとプロジェクトチームを導いていくのに必要となります。

★**自立経済の基盤構築へ** 現在、5か年計画によって自立経済の基盤を打ち立てようとしています。現在のレダの様々な課題を分析し、ビジネスモデルの骨子

を作りますが、その後で非常に重要なのが「基盤構築」になります。日陽園には、提唱者文鮮明先生ご夫妻の願いを託された先輩たちがレダを訪れました。西永氏と水田氏です。レダのために色々と動いてくださっているお二人が、ださいました。その内容の一部を共有したいと思います。

西永豊光氏

★**自立経済事業に向けてのロードマップ作成** 私が日陽園に来るのは3回目です。その前の第一回・二回は、パラグアイの養殖生産業者と、販売市場と、生産地の市場を視察することに加え、将来のレダ事業の可能性を探つてまいりました。

私が初めてパラグアイと日陽園を訪問をしたおり、この地(日陽園)の自立経済のモデル設計は、未来のビジョンが開けるものとなるなければならないと、瞬時に見て分かりました。

そこで、自立経済のビジネスモデルを設計していくにあたり、その達成項目管理のために運営開発会議を発足させました。ロードマップは人材育成(on the job training)なども含んでおり、目標の達成へとプロジェクトチームを導いていくのに必要となります。

★**日陽園に隠された提唱者の心情と戦略を見る** 日陽園は本当に神の理想郷を建設するのに適しているのです。文先生の軌跡を追求してみると、これまでに適していません。これらはすべて、自立経済には必要となります。

それは人間社会にとつて必要不可欠なのですが、分かりやすいけれど、二次も三次もあり得ない」と

話ですと、「第一次産業がなければ二次も三次もあり得ない」と

要になつてくるのが「基盤構築」になります。日陽園には、提唱者文鮮明先生ご夫妻の願いを託された先輩たちがレダを訪れました。西永氏と水田氏です。レダのために色々と動いてくださっているお二人が、ださいました。その内容の一部を共有したいと思います。

西永豊光氏

★**自立経済事業に向けてのロードマップ作成** 私が日陽園に来るのは3回目です。その前の第一回・二回は、パラグアイの養殖生産業者と、販売市場と、生産地の市場を視察することに加え、将来のレダ事業の可能性を探つてまいりました。

私が初めてパラグアイと日陽園を訪問をしたおり、この地(日陽園)の自立経済のモデル設計は、未来のビジョンが開けるものとなるなければならないと、瞬時に見て分かりました。

そこで、自立経済のビジネスモデルを設計していくにあたり、その達成項目管理のために運営開発会議を発足させました。ロードマップは人材育成(on the job training)なども含んでおり、目標の達成へとプロジェクトチームを導いていくのに必要となります。

★**日陽園に隠された提唱者の心情と戦略を見る** 日陽園は本当に神の理想郷を建設するのに適しているのです。文先生の軌跡を追求してみると、これまでに適していません。これらはすべて、自立経済には必要となります。

それは人間社会にとつて必要不可欠なのですが、分かりやすいけれど、二次も三次もあり得ない」と



SNAP

●夜明けの空は珠玉の輝き。1月11日

●日陽園タンク(給水塔)にかかる虹。右は浄水施設。2月4日



**自立経済へ**（一面よりつづく）  
そういうところで福地創建構想には、文先生の戦略が隠されているように思われます。その内的な心情に外的な基準を組み込んでいったのがこの日陽園の自立経済の発足になります。  
この事業に取り掛かるほど、色々と文、妻の心情圈がどこにどう組み込まれているのか明確に解つてくるかと思います。それと同時に、文先生の軌跡は第一次産業の重要性が色濃く出ています。

文先生は生涯、海洋探査に力を注がれましたが、それを経由して日陽園というエデンの園のモデル地があるのだと思います。

水田錦吉氏（当法人理事）

★**自立経済移行は待ったなし**

レダは、パラグアイの現地法人である南北米福地開発財団(FDSANS)として活動しています。主要な支援は、南北米福地開発協会から受けて運営しています。昨今、日本の諸問題もありレダの資金繰りも困難な状況になっています。自らパラグアイで経済を運営していく形を確立しなければならぬ段階に入つて久しくなっていますが、今年はそれがある意味正念場の状況です。

★**ホールセール** このような中、どのように事業を確立して

いくべきかという課題と向き合  
い、今、西永氏を中心にホール  
セール事業を進めようとしてい  
ます。今までのレダで生産され  
た全てを包括して活かせる事  
業が前提となっています。

★**趣味産業へ** その次のステッ  
プとして趣味産業、趣味生活に  
なってくると認識しています。

私は実際に二世を中心として  
活かす事業を行いました。特に  
男性の二世が一般の企業に就  
職すると、なかなか教会に来れ  
なかつたり、研修会等にも参加  
できなかつたりするからです。  
そういう者たちのためにも、今  
回の事業は二世を中心とした  
趣味産業という方向性で行い  
ました。

最終的に私たちは、得意なこ  
と、好きなこと、自分自身の成  
果追求に没頭して、そして人の  
ために生きながら楽しく文化  
生活を築き上げる、そんな趣  
味産業を理想とした事業です。

★**二世圏の高ポテンシャル**

家族団欒で完結型のリゾート  
を一世と一世だけで構築しま  
した。私自身はそこにコンサル  
という立場で参加しました。カ  
フェのメニューは、ほぼ二世たち  
が考えました。彼らはすごくポ  
テンシャルが高いですね。あつと  
いう間に意見を出し合つて作り  
上げます。(三面につづく)



●チャパボラの柳谷君(中)が10か月余りの奉仕活動を終えて帰国の途に。1月30日



●加藤君(左)が帰国の途に。1月24日



- 4月には待望の第1子が誕生予定。



●川久保夫妻と滝川夫妻。2月1日



●島田家がパロサントの工芸品工房を訪問。1月10日

**自立経済へ**（二面よりつづく）  
またコロナで実現しませんでもし  
たが、自分たちでルアーを作ろう  
ともしていました。こうした観光  
に特化した事業は、パラグアイに  
おいても同じようにできる素材  
が十分に揃っていると思います。  
(二)まで水田氏)

新任チヤバボラに聞く

容を込めて語ってくださいました。こうした経験を豊富にそなえたミドル世代の方々が、今レダで歩んでいる山崎氏を含め、三人そろった現状にとても頼もしさを感じることができた、今回の二人のレダ訪問でした。

## 新任チヤパボラに聞く 1月22日、新たに一人のチヤパボラ生、NさんとSさんが元気よくレダに到着。二人とも女性です。

**Q**なぜレダに来ようと思ったか、  
その動機を教えてください。

**N**高校生の時に親からレダの話を聞いて、元々海外に行きたい  
想いもあって希望しました。また文先生夫妻が開拓された南米の  
土地であり、世界平和地球村のモデルをつくるというビジョンに  
惹かれました。



新任チャパボラ生たちを歓迎する夕べ。1月22日



Nさんもドラドを釣りました！

**N**・神様と提唱者文先生ご夫妻の心情を感じたいのと、開拓精神を養っていきたいです。■  
**S**・養豚の飼料改善、環境を変える、目に見える地図など、何かしらで一つ足跡を残したいです。

和動して、心情的に近くなれる  
ような取り組みをしたいです。  
**Q**、これからのお願い  
します。

S：出来る限り自然を探索して生き物などを楽しみたいです。あとはチャマココの人たちともっとしたいと思っています。

か改善点を際立つて感じました。チャマココの人たちとの文化的壁のよう、特に心情文化の面でそのように感じました。

**Q**、レダでやつてみたいことはありますか？

